# 相産定時制だより

令和３年 ３月 ２３日発行
兵庫県立相生産業高等学校
定時制課程
http://www.hyogo-c.ed.jp/~aioi2-ihs/
第９号

## ２月・３月の主な行事

### ≪表彰式・記念品贈呈式≫

２月 24 日（水）、表彰式を執り行いました。卒業生に、これまでの努力を評価した表彰が行われました。日頃の学校生活での努力の成果である皆勤賞、精勤賞、生徒会活動功労賞の表彰も行われました。

記念品贈呈式では、卒業記念品として防犯用品が本校に贈呈されました。また、生徒会記念品として名前入りボールペンが、同窓会より卒業証書入れとコサージュが、PTA より印鑑と印鑑ケースが卒業生に贈呈されました。

### ≪第 62 回卒業証書授与式≫

２月 25 日（木）、第 62 回卒業証書授与式を挙行しました。今年度は４年生 17 名、３年生三修制６名が卒業証書を授与されました。

コロナ禍のなか人数を制限し、在校生からは代表として生徒会役員が出席しました。来賓として PTA 会長にご臨席いただき、祝辞をいただきました。また、ご案内できなかった方々から多くのお祝いのメッセージをいただき、式場内にて披露させていただきました。式典を終え、卒業生たちはこれまでの学校生活でお世話になった多くの方々への感謝を胸に、本校より巣立っていきました。

### ≪学びたいむ≫

２月４日（木）から 10 日（水）の５日間、学びたいむを実施しました。

生徒たちは学年末考査に向けて、始業前や放課後に教室で試験勉強に取り組みました。生徒同士で勉強を教え合ったり、積極的に先生へ質問するなど、意欲的な態度が多く見られました。

### ≪「飛び出し坊や」寄贈≫

３月５日（金）、課題研究で製作した安全標識「飛び出し坊や」を相生市危機管理課へ寄贈しました。

バリエーション豊富な 10 個の「飛び出し坊や」と新作である「飛び出し婆や」が相生市各所に設置されることで地域の安全に貢献し、また、学校と地域の連携がよりいっそう深まることを期待します。

# 〖第 62 回卒業証書授与式　校長先生　式辞〗

春の息吹が感じられる今日の良き日に、PTA会長様、保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立相生産業高等学校定時制課程第六十二回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、私たち教職員にとりましても誠に光栄であり、心から感謝を申し上げます。

ただいま卒業証書を授与しました二十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、今日まで限りない愛情をもってお子様の成長を支えてこられた保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは「昼間働き、夜学ぶ」生活を送られ、見事に仕事と学業の両立を果たされました。しかし、この相生産業高等学校での生活は、平坦な道ばかりではなかったでしょう。昼間働いて、世間でいう一日の終わりの時間帯に登校して「学ぶ生活」を続けていると、時には挫けそうになることもあったでしょう。特にこの一年間は、新型コロナウイルス感染症のため、前例のない日々が続きました。様々な制約の中、できなかったことや我慢しなければならないことも多々あったと思います。

そんな学校生活の中でも、皆さんは粘り強く、課題を一つ一つ克服して、成功体験や失敗体験を重ねながら、今日の卒業の日を迎えることができました。皆さんの努力はもちろん、支えてくれた家族や友人、先生方の協力のおかげだと思っています。

さて、ここで、人生の新しいステージに向かわれる皆さんに、二つの言葉を餞の言葉としたいと思います。

一つ目は「挑戦」です。

「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである。」という言葉があります。国語的に考えると「成功」の反対は、確かに「失敗」です。しかし、人生として考えた場合、失敗は成功の反対ではありません。

皆さんがこれから生きていかれるのは、予測困難な誰もが経験したことのない「with コロナ」の時代です。皆さんを待っているのは、正解のない問いに満ちた世界です。

様々な選択を迫られることになるでしょう。自分を信じ、「なりたい自分に」になるためには、自分が苦手なことや面倒だと思うことにも挑戦しなければなりません。しかし、挑戦したからと言っていつも成功するとは限りません。自然界の法則では、むしろ失敗することの方が圧倒的に多いのです。問題は、挑戦しないことにあります。挑戦しなければ、失敗すらないのです。成功なんてあり得ません。

人は失敗によって虚しさや失望、敗北感を感じることになります。しかし一方で、人は成功より失敗から多くを学び、考え、次に活かすことにできます。自らの人生を切り開いていくために、失敗を恐れず、諦めず、誠実に努力を続け、「挑戦」することをやめないでください。

二つ目の言葉は「思いやりの心」です。

高校を卒業すると皆さんは大人の仲間入りをすることになります。「世界は誰かの仕事でできている」というCMがありますが、まさにその通りだと思います。私たちの生活は、すべて自分以外の誰かのがんばりに支えられているのです。そして皆さんもこの世界を支える誰かに必ずなるのです

皆さんはこれからＩｏＴ、人工知能(AI)、ビッグデータといった先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety5.0、「超スマート社会」を生きていくことになります。

しかし、いくら自動化やロボット化が進んだとしても、人と人の関わりがなくなることはありません。

人は一人では生きていくことができません。だからこそ、思いやりの心をもった人、「相手の立場に立って考え、相手の気持ちを大事にして行動できる」人になってもらいたいのです。人は人によって磨かれ、成長していきます。どうか、常に他者を思いやり、人や社会に対する優しさと使命感を持ち続けてください。多くの人と接し、そのメッセージをしっかり受けとめてください。そして世界の誰もが幸せに暮らせる未来を実現するために、自分にできることを精一杯できる大人になってください。

最後になりましたが、保護者の皆様には、お子様を励まし支えていただくと共に、本校の教育方針についてご理解頂き、本校教育活動に絶大なるご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、

「夢にときめけ　明日にきらめけ」

これからの皆さんの人生が、夢と希望に満ち溢れ、こころ豊かで幸多からんことを心よりお祈りし、式辞といたします。

## ≪全校清掃活動≫

3 月 22 日（月）、全校清掃活動を実施しました。
次の学年がスタートを気持ちよく切ってもらうために、1 年間使ってきた教室やロッカーを感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除しました。清掃活動を通じて、学校生活を送るにあたって基本となる心構えを改めて意識しました。また、掃除を終えてきれいになった環境で、学習活動や学級活動に熱心に取り組み、自分たちの目標に向かってがんばろうと気持ちを引きしめました。

## ≪3.11 追悼行事≫

3 月 1 日（月）、3.11 追悼行事を実施しました。
東日本大震災で犠牲となられた方々に追悼の意を表し、心からご冥福をお祈りするため 1 分間の黙祷を捧げました。

## ≪日本情報処理検定協会　各検定≫

3 月 2 日（火）、2 年生 17 名、1 年生 2 名が日本情報処理検定協会の各検定を受験しました。試験当日まで合格に向けて練習に励み、本番ではその成果を十分に発揮しました。

# 『新聞閲覧』感想紹介

## 『新聞閲覧 20』（2 月 2 日（火）実施）

**神戸新聞　2021 年 1 月 23 日　『助けた高校生判明』**

人助けをしたことを大した事じゃないと言えることや、名乗り出ることもなく見返りも求めないことはすごいことだと思いました。こういう姿勢や勇気、見返りを求めない心を見習いたいです。
(2 年)

**神戸新聞　2021 年 1 月 28 日　『新聞読み比べ意見交換』**

新聞を読み、記事の内容を理解して意見を交わしあうことは、とても素晴らしいと思います。他人の意見を聞いて自分の意見と比べさまざまな視点から物事を見ていくことはとても大切なことだと思いました。
(3 年)

**神戸新聞　2021 年 1 月 28 日　『窓閉めない「カンセンヨボウ」』**

コロナ対策として、教室の換気を保つために生徒が自ら窓のストッパーを考案し自作したことがすごいなと思いました。このような活動のように、機械科の自分達にもコロナ対策ができるのではと思えるような記事でした。
(3 年)

**神戸新聞　2021 年 1 月 30 日　『東播磨　無名から飛躍』**

コロナの中、オンラインで個人指導をするという発想がすごいと思った。練習環境が悪くてもがんばれることや、さらにそこから結果を出せることもすごいと思った。
(1 年)

# 『今年度の新聞閲覧の感想』

**1 年**

新聞閲覧がきっかけとなって、初めて新聞を読むようになりました。最初は面倒だなと思っていましたが、今は気になる記事を見つけられるようになり、いい経験になったと思います。

高校生になって初めてまともに新聞の記事を読むようになりました。いつもは番組表ばかりだったので、とても新鮮な気分になれました。はじめは何をどう読めばいいのかわかりませんでしたが、新聞読み方講座を受講したり、1 学期から 3 学期までの新聞閲覧を通じて新聞を読むことに慣れましたし、楽しさも感じました。来年もこの調子でがんばりたいと思います。

**2 年**

1 学期は内容を理解する、2 学期は内容を理解して自分が思ったことを書く、3 学期は自分の好きな記事を選び思ったことを書くということを経験しました。こうしたことを通じて、新聞の記事が何を伝えたいのか、それに対して自分がどう思ったのかを勉強することができました。

家では新聞を読んだりニュースを見たりすることがないので、この新聞閲覧の時間で新聞を読み、世の中がどうなっているのかを知ることができました。

**3 年**

1 年生の頃から今までやってきて、新聞閲覧がなければ知ることができなかったことがたくさんあると思いました。自分たちの年代はテレビを見る人も少なく、ニュースを知る機会が減少していると思います。新聞閲覧を通じて、新聞を読むことが楽しいと思えるようになりました。

自分がいいなと思った記事をひとつ見つけて感想を書くことは、これからの人生で役に立つことだと思いました。

## ４月の行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| | | | | 春季休業 → | | |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| → | | | | 始業式・着任式<br>個人面談<br>（15 日まで） | 対面式<br>課題考査① | |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 離任式 | 身体計測<br>課題考査② | 課題考査③ | 尿検査（1 次）<br>新聞閲覧①<br>特別時間割 | 尿検査（1 次）<br>特別時間割 | |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 創立記念日 | 特別時間割 | 禁スマ | 防災訓練<br>新聞閲覧② | 内科検診 | 新入生歓迎<br>行事 | |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| | 就職ガイダンス<br>C.C | 新聞閲覧③ | | 昭和の日 | 禁スマ | |